

よこごし



自然の素材で作られた珍しい饅頭神楽 木津祭り披露

9月6日・7日、木津地区で祭りが開催されました。
この祭りでは、饅頭神楽という極めて珍しい神楽が地域を回ります。この神楽の「獅子頭」は、稲ワラを編んだ米俵のふた（饅頭）を2つ合わせて大きな口とし、ナスの目に、カボチャの鼻、熊笹（クマビエ）を髪として、歯は唐竹を割り組み合わせて金紙を貼り付けて作られた見事なもので、愛きょうある風ぼうが特徴。毎年祭りに合わせて、保存会のメンバーによって二頭作られています。
笛と太鼓に合わせ、五穀豊穡を祈って神楽舞を舞い、また、神楽を印刷したお揃いのTシャツを着た地域の子どもたち20人が、7月から練習を重ねてきた踊りを披露。7日夕方、賀茂神社で最後の舞いが奉納された後、獅子頭は近くの小阿賀橋のたもとから小阿賀野川に流されました。
この神楽が登場し、こっけいな舞を始めたのは明治30年頃。ある秋祭りの晩にお宮に集まって、御神酒をいただいて元気を出した若者の1人が、当時の農家であればどこでも見られた饅頭2枚と、鶏小屋から蚊帳を持ってきて、宵宮参りの大勢の氏子を前に威勢よくこっけいな舞をやったのが始まりといわれています。

今月の内容

平成14年度一般会計決算	2~3
平成14年度特別会計決算	4~6
町議会9月定例会	7
百歳の祝い	8
シルバーの日	9
小中学校研究発表会	10
赤い羽根共同募金	11
横雲バイパスでウォーキング	12
秋の味覚祭り	13
カメラアングル	14~15
中央公民館・総合体育館からのお知らせ	16~17
健康の窓	18~19
生活習慣病予防に活用できる献立紹介	20~21
お知らせ	22~23
横越町福祉探検隊⑦	24